

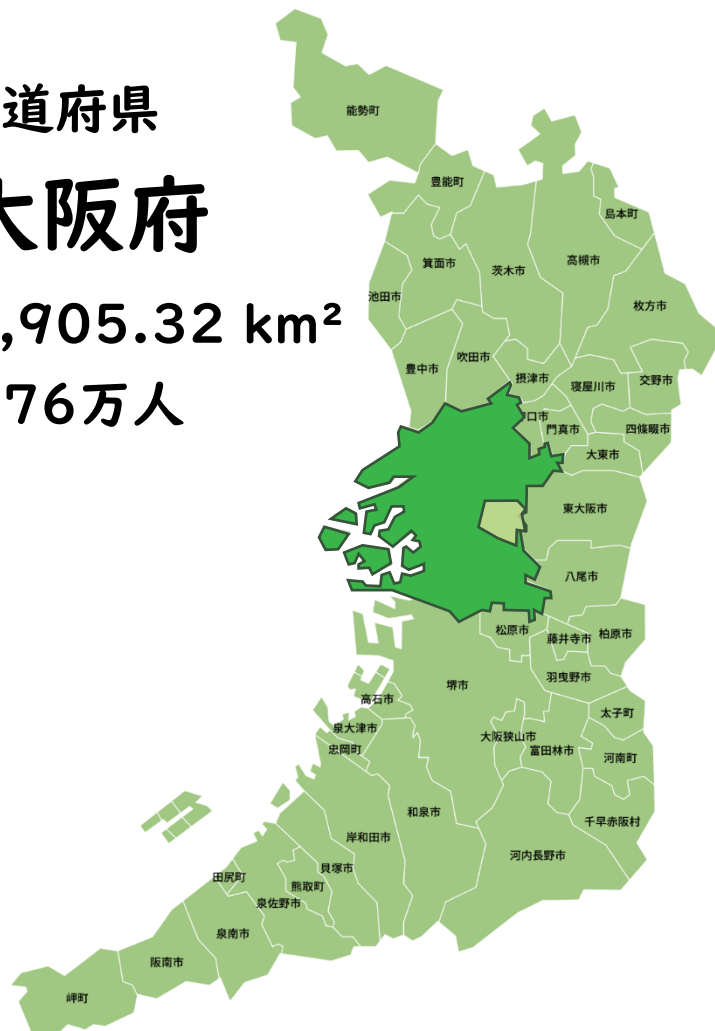
大阪府大阪市生野区とは

都道府県

大阪府

1,905.32 km²

876万人

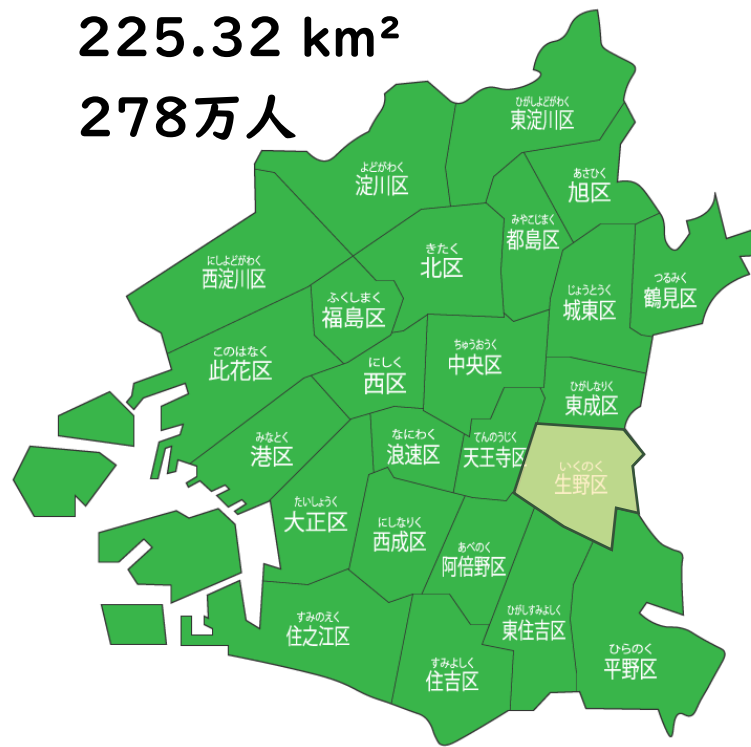


政令指定都市

大阪市

225.32 km²

278万人



大阪市24区ある行政区の1つ

大阪市生野区

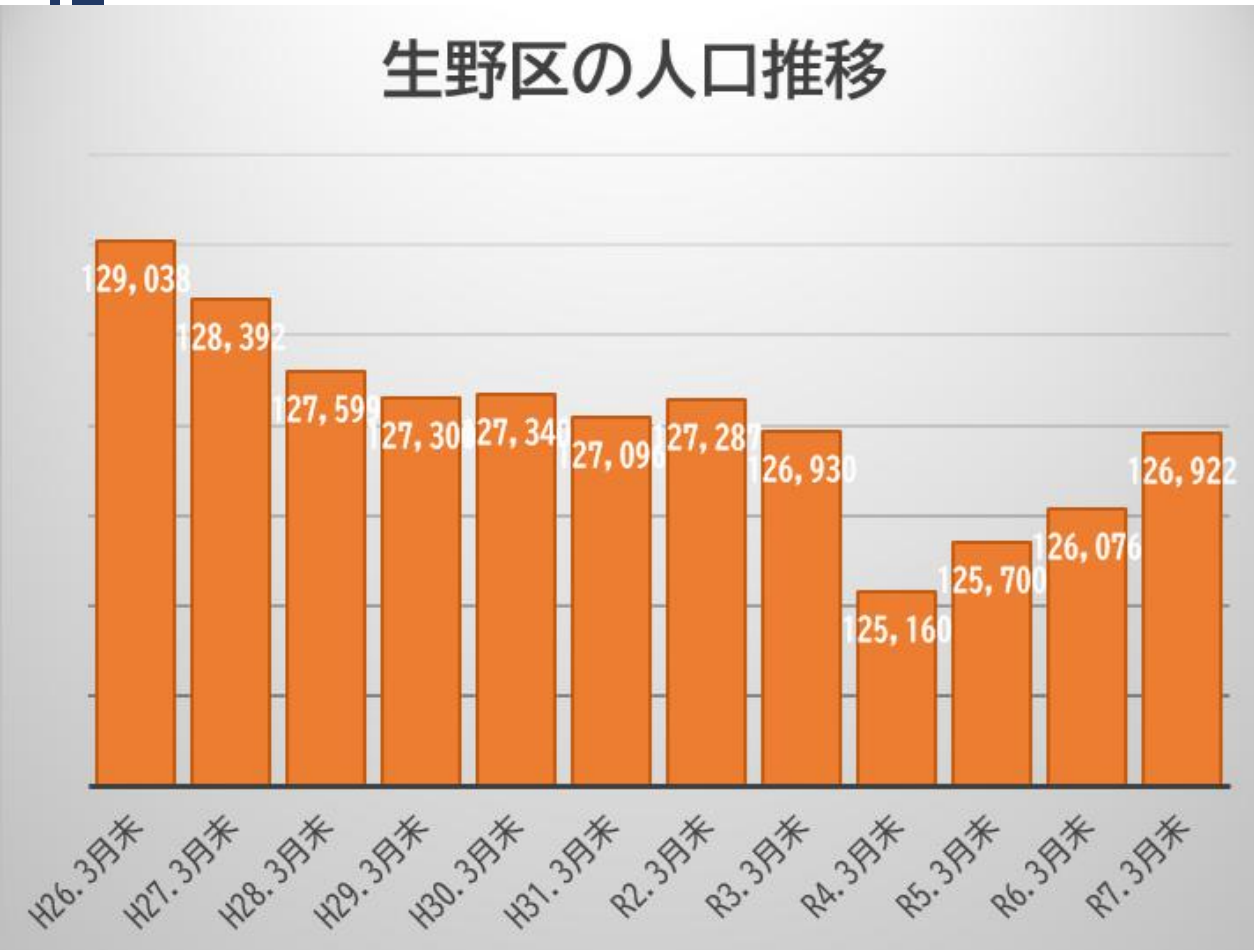
8.38 km²

12万7千人

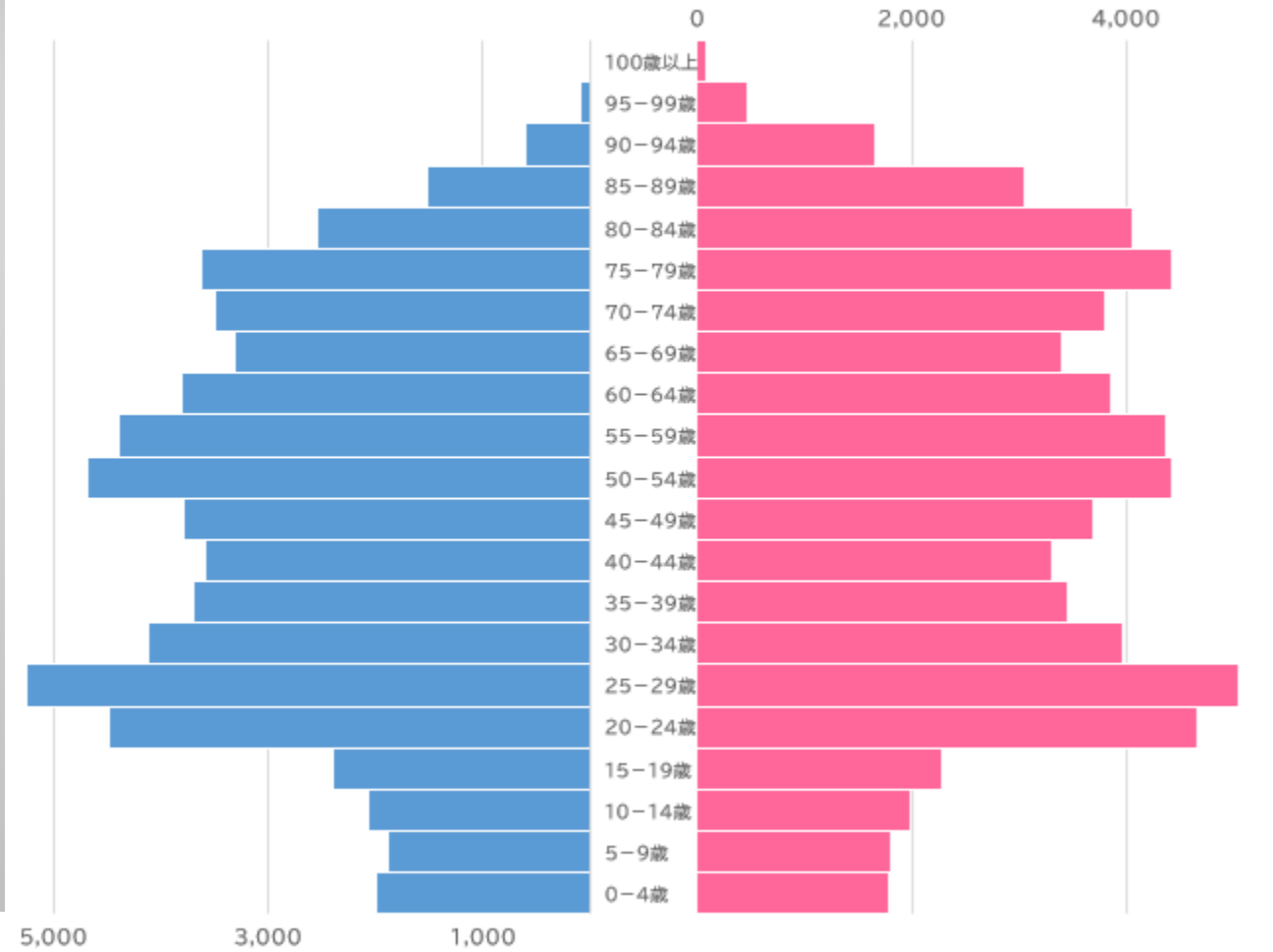


生野区の人口推移

生野区の人口推移

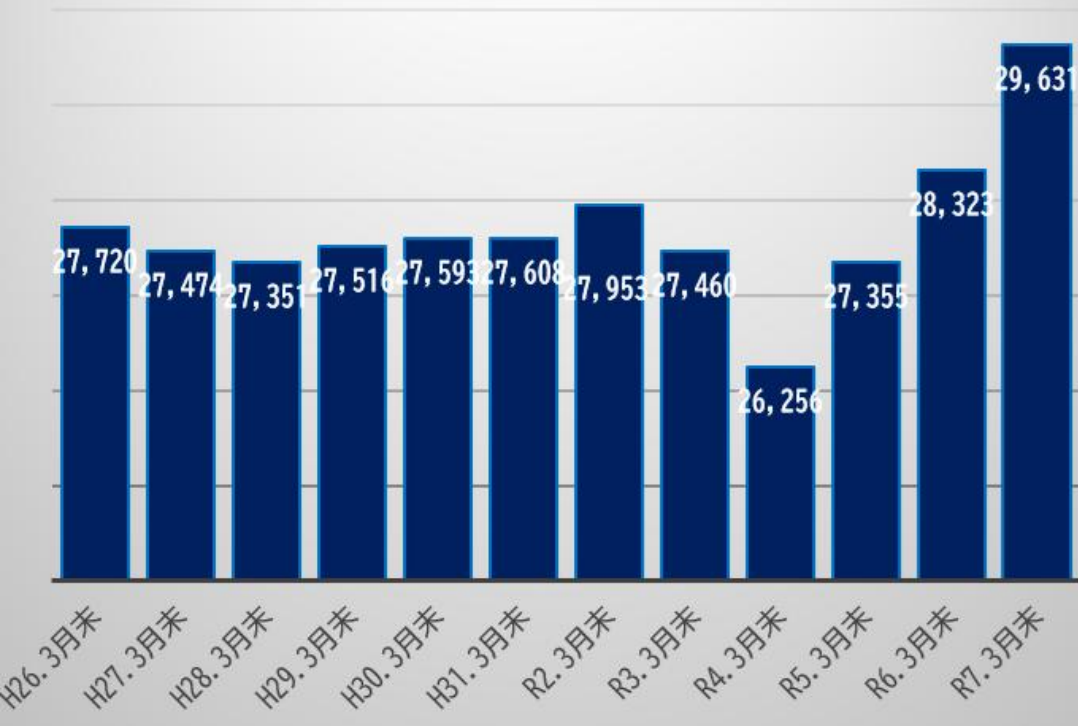


生野区人口年齢ピラミッド(2025年3月末時点) 男 女

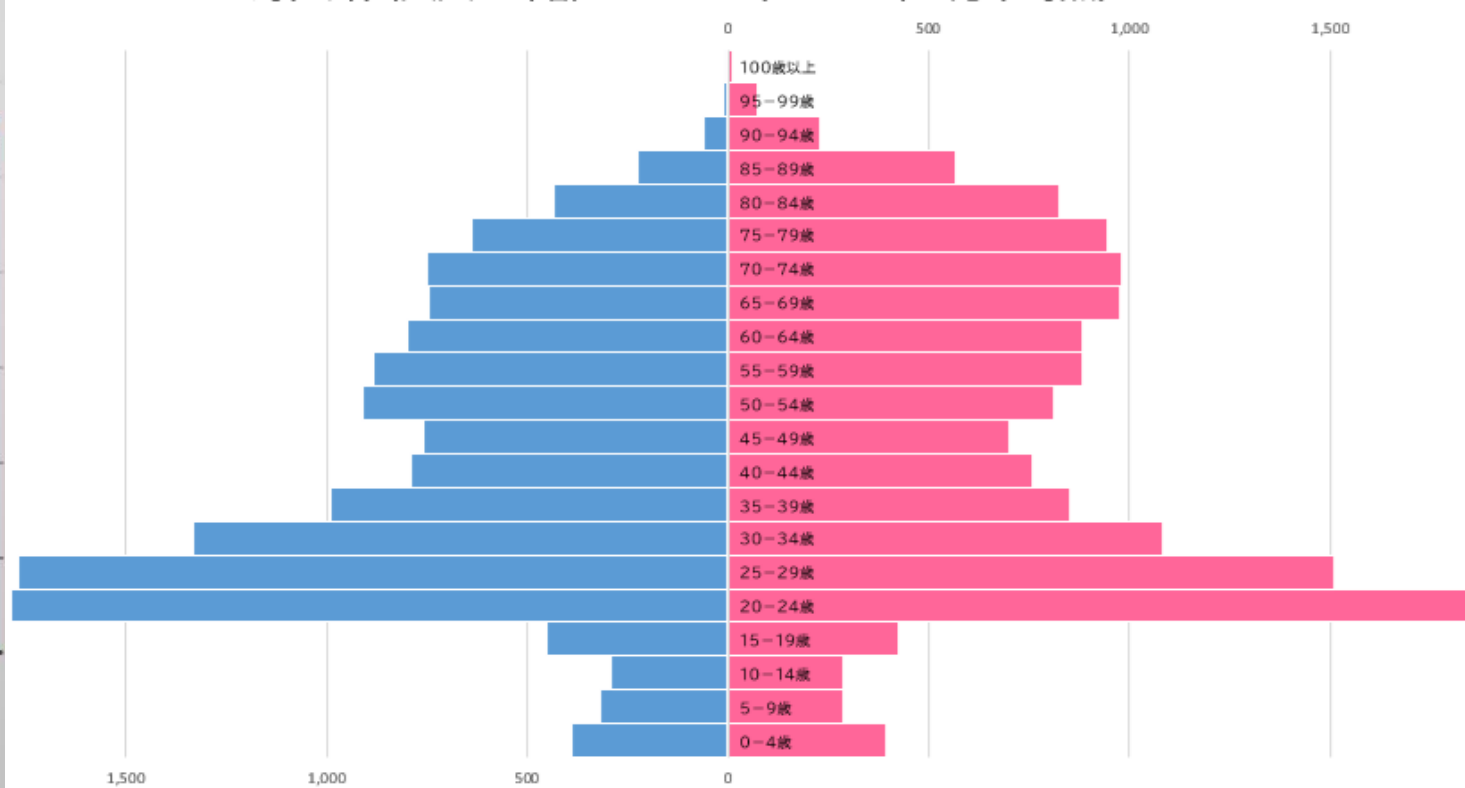


生野区の外国人人口推移

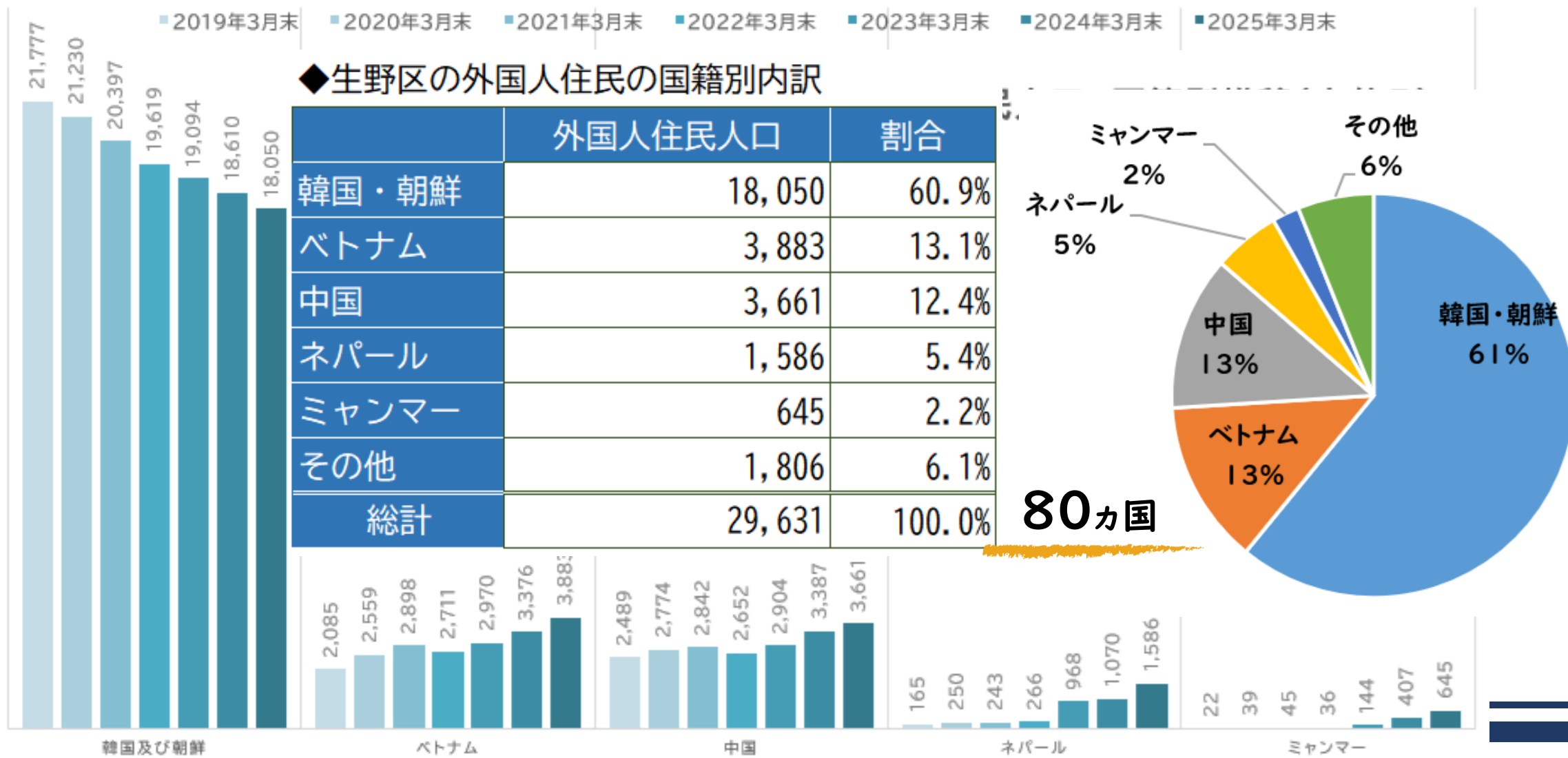
生野区の外国人住民人口推移



生野区外国人人口年齢ピラミッド(2025年3月末時点)



生野区の外国人住民の国籍別内訳



生野区の現状

- ・ 大阪市生野区は、外国籍住民比率が日本一住民の5人に1人が外国籍
- ・ 約80カ国の国から集まった様々な人達が暮らす
- ・ 少子高齢化が進む
- ・ 老朽化した長屋が多く、5軒に1軒が空き家

生野区のこと

(大阪市「住民基本台帳人口・外国人人口」より、2025年3月31日現在)

人口 約126,922人、外国籍住民 約29,646人 (約23.3%)
韓国朝鮮籍 / 約18,050人
ベトナム籍 / 約 3,883人
中国籍 / 約 3,661人
ネパール籍、ミャンマー籍
フィリピン籍など

現在は80カ国以上の人々が暮らしている。

大阪聖和保育園のこと

- 「大阪聖和保育園」／生野区桃谷5丁目10-29
 - ・ 0歳（産休明け）から就学前まで、定員120名
 - ・ 保育時間、7：00～19：00

- 「子育て支援・多機能センター」／生野区桃谷5丁目5-37
いくのパーク3階
 - ・ 一時預かり保育、休日保育、つどいの広場を実施

保育園の子どもたち / 2025年度 134名の在籍

約50～60%（70名程度）が

韓国・朝鮮籍、又はルーツを持つ子ども

➡本名で在籍している子どもは約10%

➡日常の言語は「日本語」

その他、中国

ガーナ

南アフリカ

ベトナム

ネパール

メキシコ

フィリピン

エチオピア

台湾

に国籍又はルーツを持つ子どもたち（約20～25%）

たいせつにしている事

「目標標語」

「自分をたいせつにします。人をたいせつにします。豊かな仲間づくりを目指します」

「保育の概要」

- ・遊びを中心とした保育
- ・ひとりひとりを活かすあうための共生保育
- ・異年齢のこどもたちが育ちあうための縦割り保育
- ・日本人と韓国・朝鮮人が共に育ちあうための民族保育
- ・様々な国籍の子どもたちが共に育ちあうための多民族保育
- ・親と子が共に育ちあうための子育て支援

「ホーム」と「クラス」

「ホーム」の名前

- ・マウム（心）ホーム : 0歳児
- ・ヨンギ（勇気）ホーム : 1・2歳児
- ・ソマン（希望）ホーム : 1・2歳児
- ・ピョンファ（平和）ホーム : 2・3・4・5歳児
- ・チャユ（自由）ホーム : 2・3・4・5歳児
- ・サラン（愛）ホーム : 2・3・4・5歳児
- ・ピョンアリ（ひよこ）ホーム : 一時預かり保育、休日保育
- ・せいわのぼぼぼ : 大阪市つどいの広場事業

「クラス」の名前

- ・つぼみ : 0歳児
- ・はっぱ : 1歳児
- ・にじ : 2歳児
- ・かぜ : 3歳児
- ・ほし : 4歳児
- ・おひさま : 5歳児

なぜ、民族保育？

- ・ 1982年
始めたきっかけ
「サントッキ」(山ウサギ)の歌
- ・ 初めてみて……
翌日の出来事

なぜ、「民族保育」？ 在日韓国・朝鮮人のこと

- ・1910年 朝鮮半島の植民地化
- ・「朝鮮人」～「日本人」～「朝鮮籍の人」←「韓国籍を取っていない方」
～「韓国人(大韓民国)」

- ・あるもの ➡住民税、所得税、固定資産税……
- ・ないもの ➡「選挙権」「警察官」「消防士」「教頭・校長」……
※卒園式でのこと。卒園生のこと

- ・「日韓保育交流」のこと……

「民族保育とは」

- a、韓国朝鮮語で挨拶をする
- b、韓国朝鮮の歌を歌う
- c、韓国朝鮮の物語を聞く（絵本等を見る）
- d、韓国朝鮮の手遊びをする
- e、韓国朝鮮の遊びをする
- f、韓国朝鮮の体操をする
- g、チャンゴやソゴを演奏する（年長児）
- h、ままごとのお着替えセットにチマチョゴリやパチチョゴリがある
- i、韓国朝鮮語がホームの名前になっている
- j、韓国朝鮮のメニューが給食に出る
- k、民族保育月間がある

民族保育月間：「プンムル」／「ノレ&ノリ」



民族保育週間（ノリ&ノレ/サムルノリ）



給食 メニュー

おやつ

チヂミ



給食 メニュー

チャプチェ



ピビンパ



目指すもの

- ◎ 韓国朝鮮人の子どもたちが、自国の出身であることに自信や誇りを持つ
- ◎ 日本人の子どもたちが、韓国朝鮮人のこどもたちを仲間だと実感する
- ◎ 韓国朝鮮人と日本人のこどもたちが、共に生きていく力を身につける

民族保育とは

- ・「多文化共生保育」としての「民族保育」
- ・「民族教育」としての「民族保育」
- ・「人権保育」としての「民族保育」

新たに日本へ来られた方々のこと

「在日韓国・朝鮮人と違うもの」

- ・来日の理由 ➡ 「経済的背景」「政治的背景」……
- ・文化の違い ➡ 「母国語」「母語」「自国の文化」……
- ・在留資格の問題 ➡ 「資格や要件などの縛り」……

「在日韓国・朝鮮人と同じもの」

- ・あるもの ➡ 住民税、所得税、固定資産税……
- ・ないもの ➡ 「選挙権」「警察官」「消防士」「教頭・校長」……

「多民族保育」の取り組み

アニョハセヨ（韓国・朝鮮）

マガンダンウマガ（フィリピン）

マーチン（ガーナ）

サラーム（エチオピア）

ヴェノスディアス（メキシコ）

ザオシャンハオ（中国）

シンチャオ（ベトナム）

ナマステ（ネパール）

ハロー（南アフリカ／シエラレオネ）

ガオザー（台湾）

シャローム・・・イエス様／キリスト教

（ヘブライ語／あなたに平和がありますように）

名前の表記

「ひらがな」「カタカナ」「ハングル」「漢字」「ローマ字」「母国語」



「お誕生日ボード」「ロッカー」「靴箱」「連絡帳」「卒園証書」

➡ 名前を奪わない

「名前」は個別のもの、
個別の「いのち」の呼称、
「いのち」は「人権」と同意語

給食 メニュー

「コムガー・カレー」



ナシゴレン



フォーガー



パイナップルケーキ



私たちの課題 / 新渡日の方々

●多民族保育での保護者との課題 ➡ 「言葉」や「文化」の問題

- ・日本語が通じない
 - 子どもの育ちを伝えることができない
 - 保育を伝えることができない
- ・親は母語、子どもは日本語
 - 親子での母語の継承が難しくなる
- ・望んで来た日本
 - 親は「困りごと」や「要望・要求」を出せない

★母語が話せる保育者の必要性 ➡ 在留資格の問題

私たちの課題 / 在日、新渡日の両方の方々

● 民族保育、多民族保育での課題

- ・ 日本社会に関与できない ➡ 選挙権等の問題
- ・ 自分がなりたい仕事につけない ➡ 国籍条項、在留資格の問題

★ 日本で暮らし続けるのに、「自己実現」ができない
➡ 「基本的人権」が守られない

● 在日韓国朝鮮人の問題は、新渡日の人々の将来の課題になる

課題の克服のために

「少数者（マイノリティー／弱者）の課題」



「多数者（マジョリティー／強者・権力者）
の課題」

として認識できなければ解決できない

「前偏見」

ダーマンスパークス（アメリカの研究者） / 1989年

「幼い子どもは、目に見える違いへ否定的反応をしやすい」

➡「直感」「感情」

差異に対する「不快」「恐れ」「拒絶」を示す行動

・目に見える違い

「人種」「社会的階層」「文化」「ジェンダー」「能力」

目に見える違い

- ・「人種」… 目の色、肌の色、髪の様子…
- ・「文化」… 言葉、食べ物、食べ方、服装…
- ・「能力」… 歩く、走る、話す、考える、書く…
- ・「ジェンダー・セクシュアリティ」… 色、服装、言葉使い…
- ・「社会的階層」… 会社員、お医者さん、工事現場…

初めて出会ったとき…

「びっくりした！」

「怖い！」

「イヤだ！」

➡ 「不快」「恐れ」「拒絶」の言葉

どう対応すれば良いの??

➡「アサーション(さわやかな自己主張)」で対応してもらう

- ・「何にびっくりしたの?」
- ・「何が怖いと思ったの?」
- ・「何がイヤだと感じたの?」

と、「不快」「恐れ」「拒絶」の気持ちを受け止めて

思ったことを話してもらおう～

「前偏見」は「偏見」ではない

- ・初めてのことに出会ったときに誰にでも起こること
- ・社会が強化していること
 - … 能力、色、文化、性差、階級など
 - … たとえば

「なあんだ、大したことなかった～」

・「人」は「違うんだね～！」

・「違う事」がたくさんある日常の大切さ

「前偏見」が本当の「偏見」に変わる対応

「びっくりした」

「怖いと思った」

「イヤだと思った」



「そんな気持ちはダメだよ!」と言わないで!

まとめ

多様性が活かされる園づくり



「違い」がたくさんあることが「豊か」なこと

「私たちの課題」

「あなたの“いのち”はかけがえがない



.....



「共に生きていく」

インクルーシブ保育・教育の実践



ご清聴ありがとうございました